

山本周五郎の
人情あふれる世界を
榎山文枝さんの一人語りで

出演 榎山文枝



夜の辛夷ごぶし

作 山本周五郎

2019年10月31日(木) 14時開演

3,500円 求道会館(文京区本郷/詳細 裏面) 150席

UN WOMEN NATIONAL COMMITTEE JAPAN

お問合せ：国連ウィメン日本協会東京
〒167-0042東京都杉並区西荻北3-11-3 サンコート西荻窪105
TEL/FAX 03-6913-9946

◆チケットは、下記の<FAXお申し込み>用紙、または、
<http://unwomentokyo.org> よりお申し込みください。

◆チケット代金の**お振込み確認後**、チケットをお送りします。
お振込み先：三井住友銀行
新宿西口支店 普通 9202331 国連ウィメン日本協会東京

<FAXお申し込み> 下記に ご記入の上切り取らずに FAX してください。 03-6913-9946
☆個人情報、緊急の連絡以外の使用はいたしません。

枚数： _____ 枚

ご連絡先 TEL/FAX : _____

お名前： _____

E-Mail : _____

ご住所：〒 _____

2019年 ____ 月 ____ 日 申込

あらすじ

「夜の辛夷」は、岡場所で交錯する秘密を持った男女を描いた作品です。

権現前の岡場所の女・お滝は 24 になる子持ち。凶状持ちが逃げ込めば岡っ引きに密告して礼金を得、客には年を偽って稼ぐため、朋輩に罵られています。

ある 12 月の寒い晩、彼女は岡場所などに来る人柄とは違った元吉という職人風の客をとりました。

「寝床を二つ取ってくれ」と云う元吉に「もういらっしやらないわね。」とお滝。

しかし、また彼はやってきたのでした…

庶民の生活に寄り添い、同じ目の高さから名もない男女を描いた山本周五郎の傑作短編です。

榎山文枝 かしま・ふみえ

東京都生まれ。63 年俳優座付属養成所を卒業後、民藝俳優教室に入る。『アンネの日記』(64 年)アンネ・フランク役でデビュー。NHK 朝の連続テレビ小説『おはなはん』(66～67 年)でお茶の間の人気を博す。原田康子原作・小池倫代脚本『海霧』で紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。最近の舞台は吉永仁郎作『静かな落日』広津桃子、井伏鱒二原作『集金旅行』コマツランコ、佐野洋子原作『シズコさん』ヨウコ、池端俊策・河本端貴作『正造の石』福田英子など。舞台を中心に映画、テレビ、ナレーションなど幅広く活躍している。

山本周五郎 やまもと・しゅうごろう

1903 年、山梨県生まれ。本名、清水三十六(さとむ)。小学校卒業後、銀座の質屋で奉公、後に筆名としてその名を借りることになる店主・山本周五郎の庇護のもと、同人誌などに小説を書き始める。26 年『須磨寺付近』で作家デビュー。43 年『日本婦道記』が直木賞に推されたが、受賞を固辞。その後もすべての文学賞を辞退しつつも、『縦ノ木は残った』、『赤ひげ診療所』(58 年)、『青べか物語』(60 年)など次々と代表作を発表した。67 年、63 歳で死去。



求道会館

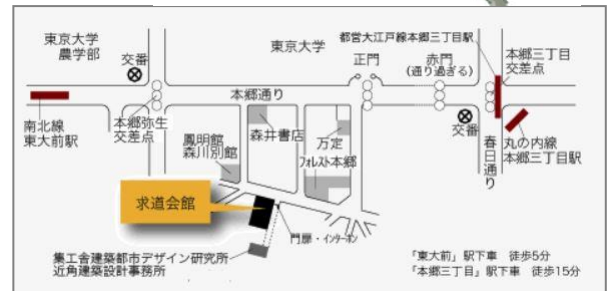
〒113-0033 東京都文京区本郷 6 丁目 20 番 5 号

TEL 03-6804-5282

(地下鉄) 南北線「東大前」駅下車 徒歩 5 分

丸の内線「本郷三丁目」駅下車 徒歩 15 分

求道会館は、東京都の有形文化財です。明治・大正・昭和の前期まで本郷の地で活躍した真宗大谷派の僧侶 近角常観の信仰を伝える仏教の教会堂です。50 年もの長い間、閉鎖され荒れていましたが、有形文化財の指定を受け、大正 4 年(1915)創建当時の姿に復元されました。東西文化が不思議に融合したその独特の建築空間には若き日の創建者たちの願いが込められています。



【上演に寄せて】

国連ウィメン日本協会東京のチャリティコンサートは、30 回目を迎えることになりました。これも、ひとえに皆様方のご支援のおかげと深く感謝しております。

この記念すべき回に、劇団民藝を代表する女優の榎山文枝さんをお迎えし、山本周五郎の名作「夜の辛夷」の朗読をお届けします。

この作品は、必死に生きる庶民の苦悩と男女の哀歓が見事に描かれた作品です。悲しさ、怒り、絶望、共感、希望などが入り交じった言いようのない感情に襲われることでしょうか。物語の舞台を現代に移せば、同様な現実が今なお繰り広げられていることに、改めて何世紀を経ても変わらぬ社会の実質構造と女性の生きにくさに圧倒させられずにはいられません。子のためにすべてを投げうって「岡場所」に身を投じた女性の圧倒的な強さは、一人の盗人を人間として目覚めさせました。それと同時に、どんなに過酷な境遇にあっても母親役割を女性だけに強いる社会の残酷さを描き切っているとも言えます。

世界で女性が一番不幸な国といわれるコンゴで、女性を支援する医師ムクウェゲ氏と、過激集団に拉致され性暴力を生き抜いた女性活動家ナディム氏がノーベル平和賞を受賞しました。世界は女性の不幸の真の原因に大きくメスを入れ始めています。

国連女性機関 (UN Women) はジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための機関です。私たち (国連ウィメン日本協会東京) は、その活動に賛同し、支援を目的に活動しております。すべての女性と女兒たちが幸せに暮せる世界を目指して、私たちもさらなる歩みを続けたいと思います。

国連ウィメン日本協会東京 会長 城倉純子

(国連ウィメン日本協会東京では、一緒に活動していただく方を募集しています。)

パンフレット作成にあたり、劇団民藝様からのご協力をいただきました。ありがとうございました。